

## 第16回がん患者大集会

2020年11月22日 オンライン配信

### 第16回 がん患者大集会アピール文

●アピール文 厚生労働省へ

- ①すい臓がんや頭頸部がんなどの難治性がん・希少がんに対する迅速な研究開発を要望します。
- ②全国のがん診療連携拠点病院にがん患者のためのチーム医療の普及を切に希望します。
- ③チーム医療の整備対応に適切な評価をし、それに対する診療報酬の改訂を希望します。
- ④チーム医療の連携の輪にがん体験者によるサポートを目的として、相談支援センターへピアサポーターの導入を希望します。



### 「すい臓がんとチーム医療」

2020年11月22日(日)

開場:12時半 開始13時 終了16時半(予定)

オンライン配信  
ZOOM 使用  
参加無料

#### 1部 講演:「すい臓がんの治療と早期発見」

- ・花田敬士先生(JA尾道総合病院内科)・・・「すい臓がんの早期発見について」
- ・森実千穂先生(国立がん研究センター希少がんセンター/中央病院肝胆膵内科)・・・「すい臓がんの最新の治療」
- ・真島喜幸氏(NPO法人パンキャンジャパン 理事長)・・・「膵臓がん生存率向上のために私たちにできること」

#### 2部 シンポジウム:「がん患者を支えるチーム医療」

コーディネーター:下井辰徳先生(国立がん研究センター希少がんセンター)

シンポジスト:真島喜幸氏(すい臓がん体験者)、半田一登氏(チーム医療推進協議会代表)、中嶋崇博氏(山梨県立中央病院言語聴覚士)、馬場知子氏(自治医科大学附属さいたま医療センター公認心理師)、宮本直治氏(薬剤師 胃がん体験者)、寛原和希氏(舌がん体験者)

第16回がん患者大集会は、がん患者の中でも早期発見が困難で治療が難しいすい臓がんについて学び、理解を深める事と、「がん患者を支えるチーム医療」についてがん患者、家族、医療関係者等がより理解を深める事を目的としています。

視聴方法 以下のHPに詳細を記載しますのでご覧きお申し込みの上ご視聴ください。

<http://www.canps.jp>

【主催】特定非営利活動法人がん患者団体支援機構・第16回がん患者大集会実行委員会

【協力】国立がん研究センター希少がんセンター

【後援】厚生労働省、文部科学省、(公社)日本医師会、(公社)日本看護協会、(公社)日本薬剤師会 他

連絡先

【東京事務局】〒154-0002 東京都世田谷区下馬5丁目28番7号  
TEL: 03-5787-6411 FAX: 03-5787-6420 Mail: info@canps.jp

【尾道事務局】〒722-0022 広島県尾道市栗原町5901-1 浜中皮膚科クリニック内  
TEL: 0848-24-2413 FAX: 0848-24-2423 Mail: hnmkk@do8.enjoy.ne.jp

## アピール文 続き

### ●アピール文 日本医師会へ

- ①すい臓がんの早期発見のためにも、全国の市町村のがん検診に「腹部エコー」ができる体制を整えてください。
- ②全国のがん診療連携拠点病院にがん患者のためのチーム医療の普及を切に希望します。
- ③チーム医療の連携の輪にがん体験者によるサポートを目的として、相談支援センターへピアサポーターの導入を希望します

### ●アピール文 がん患者・家族の皆さんへ

- ①新型コロナウイルス感染症を恐れてがん検診・がん治療を控えることなく、がんの早期発見・早期治療、継続治療を推進していきましょう。
- ②がん治療においては、がん患者さんを支える多職種ของทีม医療の輪があることを理解して、主治医や相談支援センターに相談しましょう。
- ③一人で悩まず、患者会・がんサロンなどを通して積極的に患者同士のつながりを持ち、悩みを分かち合い、助け合いましょう。